

## 令和5年度選書・除籍の実績評価について

図書館協議会では、東久留米市立図書館の令和5年度選書・除籍について、別紙の評価フローに基づき、図書館が作成した「令和5年度選書・除籍について（報告）」を受け、評価を行いました。

なお、東久留米市立図書館では、令和3年度より選書と除籍の評価については、学識経験者や市民代表を含む外部委員会を設置し、定期的な評価を行うとしており、令和2年度の図書館協議会において協議した結果、新たな外部機関は設置せず、図書館協議会を評価機関として、実績評価を行うこととなりました。

### 評価の視点

- ・自身の専門領域や関心のある分野から見た図書館の選書や蔵書構成について
- ・令和5年度の選書の方向性に沿った選書がなされているか。
- ・令和5年度の収集計画では、設定した重点目標（働く世代・子育て世代にむけた選書、公共図書館としての基本資料の充実、子どものための選書）に対して適切な選書がなされているか。
- ・課題について（市が考える課題に対する意見と委員として課題と考えること）

### 【総括】

選書・除籍において、公立図書館としての適切な運営がなされており、おおむね収集方針に沿った蔵書構築が行われていると考える。また、課題認識も適切になされている。

なお、図書館協議会での選書評価が始まって3年目で、まだ難しいところもあるが、例えば、どのような選書のツールがあるかを再確認するなど、重点的に検討するテーマを年度によって定めてはどうか。また、オンラインデータベースで得られる情報に関しては、選書である程度バランスを取ってもいいのではないか。

### 【委員意見】

#### ■ 令和5年度「選書の方向性」「資料収集計画」に沿った選書・除籍の実績について

- ・ストックとフローのバランスがとれているように感じた。
- ・市民からのリクエスト図書においても「内容の確かさ」「著者の専門性」「出版社」などを確認して選書してもらいたい。
- ・バリアフリー資料やユニバーサル資料の選書の幅も広がってきたと感じた。
- ・さまざまな課題に応じた読みやすい書籍が選書されていると感じた。
- ・収集計画の年齢層の設定は、実際にこれで合っているのか、また年代に合わせた収集

計画が適切なのか、今後再検討した方がいいのではないか。

- ・汚破損していても、初版本などの貴重な資料は、一律に除籍せずに残した方がいいのではないか。
- ・市内において、年代などのデータに基づいた著しい地域格差は見られないので、地区館ごとの特色設定は不要であり、選書作業に当たっては、蔵書・配架の状況から判断してバランスよく収集することが重要ではないか。
- ・児童サービスの参考図書のようなものが、もう少し幅広くそろえてあるといいのではないか。

#### ■ 専門領域や関心のある分野から

- ・多摩六都科学館も近くにあるので、科学分野の児童書の充実を図っていることはよい。今後は、より身近になっていく宇宙関連の書籍も充実させてもらいたい。
- ・農業分野については、地元の生産者が最新の知識を得られるような書籍にも留意して収集してもらいたい。
- ・情報活用などのタイムリーな課題解決は、雑誌の充実で補うことが合理的ではないか。
- ・大学出版会の目録も参考にするといいのではないか。

#### 【令和6年度へ向けた課題】

こどもの調べ学習の支援は、学校等の教育機関と連携して、現場の状況を把握した上で実施してもらいたい。

図書館の利用が少ない10代・20代に対しては、選書の観点だけでなく、配架の工夫やパーソナルスペースづくりなども必要ではないか。

地域資料については、市内施設を巡回して収集することも価値があるが、さらに各施設との資料収集の連携・仕組みがあるとよい。郷土資料については、学校に保管されているものもあるため、学校との情報共有ができるとよい。

評価に当たり可能であれば、データベースの形式で新刊図書の全件購入リストのようなものがあると選書の実績が確認しやすくなる。また、実際に見計らいの作業が見られるような機会があるといいのではないか。

きちんとしたポリシーを決めた上で、個人を特定する情報ではなく、オープンデータで、それぞれの地域の住民の年代などのデータも公開されているので、そのようなデータを分析することで、選書にフィードバックできるのではないか。

英語以外の外国語話者に対応する資料についても、必要性などを含めてどのような資料があるのか、新刊に限らず検討してもらいたい。

図書館利用の少ない世代に向けた資料やユニバーサル資料の選書が行われているので、対象者への周知にも力を入れてもらいたい。

【評価フロー】（令和5年度）

- I 選書の方向性、収集計画の確認（第1回図書館協議会）  
図書館が示した当該年度の選書計画に基づき、選書の方向性、収集計画の確認を行う。
- II 中間確認（第2回図書館協議会）  
図書館が作成した中間報告（期限を区切って抽出した購入及び除籍リストを含む）を確認する。
- III 実績評価（第3回図書館協議会）  
図書館による選書・除籍の報告を受け、実績を評価する。なお、必要に応じてヒアリングを実施する。